

特定非営利活動法人School Voice Project 設立趣旨書

●子どもも大人も「変えていける実感」を持ってない社会

「自分を大人だと思う」27.3%、「自分は責任がある社会の一員だと思う」48.4%、「自分で国や社会を変えられると思う」26.9%。これは2022年に日本財団が6カ国の18歳を対象に行った「社会や国に対する意識調査」における、日本の回答割合です。いずれの項目も、他の国と比べても、顕著に低いと言える数字になっています。（引用：日本財団・18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-報告書より」

私たちは、子どもたちが「自分の意見は大切にされている」「私が動けば物事は動く」という実感を積んで、社会に巣立っていける、そんな学校をつくりたいと願ってきました。けれどこの数字にも表れているように、残念ながら現実はそうなっているとは思いつらい状況です。

そもそも、日々子どもたちに向き合う私たち大人は、「自分の声は聞かれている」という実感を持っていますでしょうか。違和感を感じても職員室で言うことができない、現場の意見を聞かれることもなくトップダウンで方針が降りてくる・・・教職員がそんな状況なのだとしたら、一体どのように、「声は届く」「自分には力がある」という感覚を子どもたちに育むことができるでしょうか。

●疲弊する学校現場をどうにかしたい

学校現場には今、増え続ける教育内容への対応や虐待・非行・不登校への対応、家庭や地域との連携、教員の多忙化など、さまざまな課題が山積しています。必死に働きながらも、閉塞感を抱えている教職員がたくさんおり、「子どものために、学校をもっといい場所にしたい」と願って働いている人が追い詰められていく現状があります。

私たち、School Voice Projectは、現職や元職の教職員を中心とした団体です。メンバーの多くは、現場の最前線で、学校組織や、子どもたちを取り巻く現状の厳しさと対峙しています。社会のさまざまなところで「学校は変わらなきゃいけない」と語られますが、実は「変えたい」「変わりたい」と思っている人は、学校の中にもたくさんいます。私たちは、学校は、内側にある思いや力を引き出し、対話によるつながりをつくり、あたためることでこそ、よくなっていくと考えています。

●必要なのは「声が届いた体験」、それを支える仕組みをつくる

学校を変えることは簡単ではありません。変えたいと願いながらも、不安や恐れ、組織のかたさや慣習などによって、声をあげるのを諦めたり、失敗して傷ついたり、試行錯誤する意欲を失っていく人がたくさんいます。よりよく変えていくためのアクションを増やすには、「思いが届いた」「動いたら変わった」という具体的な”成功体験”が必要です。

「私が日々働きながら感じ考えていることには価値がある」「職場はよりよく変えていける」「教育施策にも影響を与えられる」。そう思える教職員が増えていけば、それは大きな希望です。

だから私たちは、そのため仕組みとして、学校をよりよくしたいと願う教職員がつながり、小さな違和感を持ち寄り、聴き合う文化の中で支え合える『コミュニティ』と、現場の一人ひとりの声を集めて“見える化”し、政策提言や職場変革のキャンペーン・対話の場づくりなどを通して社会的インパクトを生み出す『新たなプラットフォーム』をつくることを決意しました。また、これまでは任意団体として活動してきましたが、今後さらに大きな社会的インパクトを発揮していくためには、この活動の公共性の高さに見合う組織体制を整備し、信頼性・透明性を高め、この活動に賛同する人が誰でも参加できる団体となる必要があると考え、NPO法人化することを選択しました。

●教職員が勇気づけられ行動することが、子どもを力づけることにつながる

自分の力を信じ、行動を通して変化を生み出す主体となる教職員が増えれば、子どもたちがその背中を見ます。また、自分の声が尊重される経験をし、その重要さを知った大人は、子どもの声をもっと聞くようになるはずです。学校が「声が届く」「自分には力がある」という実感を持てる場所になれば、子どもたちは民主的なコミュニティのづくり手としての感性や力を育てていけるでしょう。

目指したいのは、子どもたちが幸せで、自分の力を実感できる学校。そして多様な一人ひとりの存在が大切にされる社会。そのために、私たちは教職員が元気になる環境づくりに取り組みます。

●学校はよりよく変わっていける

日本の学校現場の疲弊と窮状は、もはや極まっています。私たちの身近なところでも、不必要に子どもが傷ついたり、教職員が心を病んだり、心強かった仲間が現場を去ったりしています。

後回しにすればするほど、手立てはもっと困難になるでしょう。だから、私たちはここに、School Voice Projectを立ち上げます。もう、無駄にできる時間はありません。

学校はもっとよくなる。

School Voice Projectは、そう願う皆さんと、一緒につくっていく団体です。

できる人が、できることを、できる方法です。それが大きな力になります。

さあ、ともに行動を始めませんか？ここには、あなたの仲間がいます。

令和4年 5月 5日

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人School Voice Project